

津波防災の日と世界津波の日

11月5日2限の授業中、訓練アラートが鳴りました。この日には毎年全国的に、津波の防災訓練が行われます。特に過去の津波によって被害を受けたり、今後津波の被害が予想されている各地方自治体で積極的に津波の避難訓練が行われました。

みなさんは、毎年11月5日が津波防災の日、世界津波の日といわれていることをご存じでしょうか。日本では、東日本大震災発生後の2011年6月に制定された「津波対策の推進に関する法律」において、「津波防災の日」を制定しました。11月5日が「津波防災の日」として選ばれた理由は、「稲むらの火」の逸話に因みます。嘉永7年（1854年）、安政南海地震（M8.4）による大津波が紀伊半島を襲った際、和歌山県のある村の郷士が、収穫したばかりの穂を積み上げた「稲むら」に火を放って、暗闇の中で逃げ遅れた村人を高台に導き多くの命を救ったという出来事がありました。また、「世界津波の日」は2015年12月22日に、第70回国連総会本会議で、11月5日を「世界津波の日（World Tsunami Awareness Day）」と定める決議が全会一致で採択されました。

https://tsunamibousai.jp/world_tsunami_awareness_day/

岩手県の津波注意報と当時の様子



11月9日午後5時03分に三陸沖で M6.7 の地震が発生したことによって岩手県に津波注意報が発表されました。午後8時15分にすべての津波注意報が解除されましたが、この地震により大船渡、久慈港で最大0.2mの津波が観測されました。岩手県では、同日午後8時時点で、10の市町村に避難指示が発令されていました。朝日新聞によると、着替えなどを持参して避難した女性（82）は、「夕飯の支度をしている時に長い横揺れを感じた。東日本大震災の記憶が脳裏をよぎり、再び津波が来るのではという怖さがある」と不安そうに話したそうです。

<https://www.iwate-np.co.jp/article/2025/11/9/188089>

[気象庁 | 地震情報](#)

垂水区で津波が起これば？



垂水区で南海トラフ地震などの巨大地震が発生し、津波を受けるとどうなるでしょうか。もし、海辺のアジュール舞子や舞子公園で活動をしていた時に津波注意報や津波警報が発表されたらどのような行動をすればよいでしょうか。津波注意報が発表された時点で速やかに高台へ避難（垂直避難）をしたり、高いところがない場合はできるだけ標高の高い内陸部へ避難（水平避難）する必要があります。たとえ、車で避難しようと考えていても、車を捨てて避難することを考えなければなりません。津波は、川など低いところを目指して押し寄せる V 字型の湾の奥などでは高くなりやすいなど、地形による特徴があることも知っておくことも大切です。津波の危険がある場所には、津波が来襲する危険がある場所には「津波注意」のほか、「津波避難場所」や「津波避難ビル」を示す津波標識が設置されています。万一に備え、海の近くにいるときには津波標識を必ず確認しておきましょう。また、アジュール舞子と舞子公園からの津波避難場所は霞ヶ丘小学校で、徒歩12分から13分ほどかかります。先日の一斉訓練では、一次避難のシェイクアウトだけでしたが、高台に逃げる二次避難先を見越して、避難経路を確認しておくことが大切です。津波防災の日をきっかけに私たちがより一層津波について考えることができればよいですね。

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201410/4.html>